



頭を打ったあとは、「あとから」に注意

診察やCTで異常がなくても、症状が数時間～数か月遅れて現れることがあります。頭部外傷後は症状がある場合、脳神経外科などの受診が必要になります。



ひとつでもあれば、すぐ救急受診

意識が悪い・急に悪化→ためらず119番／ご本人の運転は禁止

119

救急要請



呼びかけに反応が鈍い



強い頭痛



嘔吐・けいれん



手足の脱力



歩けない



ものが二重に見える



耳・鼻から透明な液や血が出る



強い首の痛み

乳幼児:ぐったりする/哺乳・食事がとれない/あやしても泣き止まない/普段と違う反応——も受診のサインです。

受傷
～48時間

最初の2日間の過ごし方

特に最初の24時間が大切

見守る

- 最初の24時間は一人にしない。責任のある大人がそばで変化を見守る
- 眠ってよいが、呼びかけて起きなければ救急受診
- 画面・強い光・大きな音で症状が増すなら控える

やめておく

- 運転・自転車機械操作
- 飲酒
- 睡眠薬・鎮静薬 ※医師の指示なく
- スポーツ 高所作業

スポーツ中の脳振盪:その日の競技復帰は禁止。症状が消え、段階的復帰を終えて医療者の許可が出るまで、接触スポーツには戻らないでください。

数週間
～数か月

忘れたところに出る出血——慢性硬膜下血腫

軽い打撲でも起こります



軽い転倒・打撲のあと、時間をかけて脳の表面に血がたまり、脳を圧迫することがあります。次の変化が徐々に出たら、「年齢のせい」「認知症かも」と決めつけず、脳神経外科または救急医療機関へ。

- 頭痛が続く・徐々に強くなる
- 歩きにくい・ふらつく・転倒が増える
- 片側の手足に力が入りにくい・しびれ/ろれつが回らない
- 物忘れ・混乱・性格の変化・反応の鈍さ・強い眠気



特に注意が必要な方

ご高齢の方/血液をサラサラにする薬を使用中/転倒をくり返す方/飲酒量が多い方